

# 四 半 期 報 告 書

(第149期第3四半期)

自 平成21年10月1日

至 平成21年12月31日

広栄化学工業株式会社

E 0 0 8 3 7

第149期第3四半期（自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）

---

# 四 半 期 報 告 書

---

- 1 本書は金融商品取引法第24条の4の7第1項に基づく四半期報告書を同法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

広栄化学工業株式会社

# 目 次

	頁
【表紙】 .....	1
第一部 【企業情報】 .....	2
第1 【企業の概況】 .....	2
1 【主要な経営指標等の推移】 .....	2
2 【事業の内容】 .....	3
3 【関係会社の状況】 .....	3
4 【従業員の状況】 .....	3
第2 【事業の状況】 .....	4
1 【生産、受注及び販売の状況】 .....	4
2 【事業等のリスク】 .....	4
3 【経営上の重要な契約等】 .....	4
4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】 .....	5
第3 【設備の状況】 .....	7
第4 【提出会社の状況】 .....	8
1 【株式等の状況】 .....	8
2 【株価の推移】 .....	9
3 【役員の状況】 .....	9
第5 【経理の状況】 .....	10
1 【四半期連結財務諸表】 .....	11
2 【その他】 .....	24
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】 .....	25

四半期レビュー報告書

確認書

## 【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成22年2月12日

【四半期会計期間】 第149期第3四半期(自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)

【会社名】 広栄化学工業株式会社

【英訳名】 KOEI CHEMICAL COMPANY, LIMITED

【代表者の役職氏名】 取締役社長 大庭成弘

【本店の所在の場所】 大阪市城東区放出西二丁目12番13号

【電話番号】 06(6961)0252

(上記は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記の場所で行っている。)

【事務連絡者氏名】 経理室長 宮下和彦

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋本町三丁目7番2号シオノギ本町共同ビル

【電話番号】 03(6667)8281

【事務連絡者氏名】 経理室長 宮下和彦

【縦覧に供する場所】 東京本社

(東京都中央区日本橋本町三丁目7番2号シオノギ本町共同ビル)

株式会社大阪証券取引所

(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

# 第一部 【企業情報】

## 第1 【企業の概況】

### 1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次	第148期 第3四半期連結 累計期間	第149期 第3四半期連結 累計期間	第148期 第3四半期連結 会計期間	第149期 第3四半期連結 会計期間	第148期
会計期間	自 平成20年 4月1日 至 平成20年 12月31日	自 平成21年 4月1日 至 平成21年 12月31日	自 平成20年 10月1日 至 平成20年 12月31日	自 平成21年 10月1日 至 平成21年 12月31日	自 平成20年 4月1日 至 平成21年 3月31日
売上高 (千円)	17,552,887	13,769,714	5,307,450	4,779,638	23,584,190
経常利益又は経常損失 (△) (千円)	1,134,993	△135,181	132,757	89,648	1,133,166
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失(△) (千円)	688,567	△71,868	80,722	52,599	593,070
純資産額 (千円)	—	—	12,842,702	12,359,853	12,546,389
総資産額 (千円)	—	—	22,696,674	22,742,578	22,097,075
1株当たり純資産額 (円)	—	—	523.08	504.19	511.28
1株当たり四半期(当期) 純利益金額又は四半期純 損失金額(△) (円)	28.13	△2.94	3.30	2.15	24.23
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	—	—	—	—	—
自己資本比率 (%)	—	—	56.4	54.3	56.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	681,411	2,120,657	—	—	336,376
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	△1,063,907	△2,567,384	—	—	△1,913,216
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	10,918	649,563	—	—	1,110,918
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	—	—	446,561	573,079	368,096
従業員数 (名)	—	—	350	325	350

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれていない。

2 第149期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していない。

3 第149期第3四半期連結会計期間、第148期第3四半期連結累計期間、第148期第3四半期連結会計期間及び第148期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。

## 2 【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はない。

また、主要な関係会社についても異動はない。

## 3 【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はない。

## 4 【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成21年12月31日現在

従業員数(名)	325
---------	-----

(注) 従業員数は就業人員である。

### (2) 提出会社の状況

平成21年12月31日現在

従業員数(名)	315
---------	-----

(注) 従業員数は就業人員である。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりである。

事業の種類別セグメントの名称	金額(千円)	前年同四半期比(%)
ファイン製品部門	2,941,117	△10.5
化成品部門	991,433	△38.4
合計	3,932,550	△19.6

(注) 1 金額は、販売価格による。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれていない。

#### (2) 受注実績

当社は過去の販売実績と将来の予想に基づいて見込生産を行っている。

#### (3) 販売実績

当第3四半期連結会計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりである。

事業の種類別セグメントの名称	金額(千円)	前年同四半期比(%)
ファイン製品部門	3,086,943	5.9
化成品部門	1,692,694	△29.3
合計	4,779,638	△9.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれていない。

### 2 【事業等のリスク】

当第3四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはない。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はない。

### 3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われていない。

## 4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

### (1) 経営成績の分析

当第3四半期連結会計期間のわが国経済は、内外の在庫調整の進展や中国・アジア向けを中心とした輸出の増加、政策効果などから緩やかな回復の動きは見られたものの、民需中心の自立的な景気回復には至っておらず、設備投資の減少や個人消費が低調に推移するなど、依然として厳しい状況が続いた。

このような情勢のもとで、当社グループは、原燃料価格の変動に対応した売価是正、拡販に努め、付加価値の高い新製品、既存品の販売力の強化を推進し、収益の確保に全力で取り組んできた。

しかしながら、当社グループを取り巻く関連業界の需要低迷の影響は大きく、当第3四半期連結会計期間における売上高は47億7千9百万円（前年同四半期比5億2千7百万円減）となり、営業利益は6千5百万円（前年同四半期比1億8千1百万円減）、経常利益は8千9百万円（前年同四半期比4千3百万円減）、四半期純利益は5千2百万円（前年同四半期比2千8百万円減）となった。

事業の種類別セグメントの状況は、ファイン製品部門の売上高は30億8千6百万円（前年同四半期比1億7千2百万円増）となり、営業利益は9千1百万円（前年同四半期比9千万円増）となった。化成品部門の売上高は16億9千2百万円（前年同四半期比7億円減）となり、営業損益は2千5百万円の損失（前年同四半期は2億4千6百万円の利益）となった。

売上高の減少に歯止めをかけるべく新規需要の開拓、原燃料価格変動に即応した売価是正などに努める必要がある。

### (2) 財政状態の分析

#### ① 資産

流動資産は、受取手形及び売掛金、商品及び製品などの減少により、前連結会計年度末に比べ12億円減少し103億4千4百万円となった。

固定資産は、有形固定資産の増加により、前連結会計年度末に比べ18億4千6百万円増加し123億9千8百万円となった。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ6億4千5百万円増加し227億4千2百万円となった。

#### ② 負債

流動負債は、短期借入金の増加により、前連結会計年度末に比べ4億8千8百万円増加し80億1千3百万円となった。

固定負債は、長期借入金の増加により、前連結会計年度末に比べ3億4千3百万円増加し23億6千9百万円となった。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ8億3千2百万円増加し103億8千2百万円となった。

#### ③ 純資産

純資産合計は、配当金の支払などにより、前連結会計年度末に比べて1億8千6百万円減少し123億5千9百万円となった。自己資本比率は前連結会計年度末の56.6%から54.3%となった。



(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却費の計上、運転資金の減少により、8億6千3百万円（前年同四半期は7百万円）の収入となった。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得により12億4千9百万円（前年同四半期は3億6千7百万円）の支出となった。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の借入により5億4千9百万円（前年同四半期は3億6千6百万円）の収入となった。

この結果、現金及び現金同等物残高は、第2四半期連結会計期間末に比べ1億6千4百万円増加し、5億7千3百万円となった。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はない。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結会計期間の研究開発費の総額は2億1千7百万円である。

### 第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はない。

(2) 設備の新設、除却等の計画

第2四半期連結会計期間末に計画していた設備計画は、当第3四半期連結会計期間において完了予定年月に変更が生じたため、次のように変更した。

会社名	事業所名 (所在地)	事業の種類別 セグメント の名称	設備の内容	投資予定額		資金調 達方法	着手年月	完了予定年月
				総額 (百万円)	既支払額 (百万円)			
提出会社	千葉プラント (千葉県袖ヶ浦市)	ファイン製品部門 化成品部門	研究設備	2,000	1,225	自己資金 および 借入金	平成20年 12月	平成22年 1月

また、当第3四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等はない。

## 第4 【提出会社の状況】

### 1 【株式等の状況】

#### (1) 【株式の総数等】

##### ① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

##### ② 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成21年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成22年2月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	24,500,000	24,500,000	大阪証券取引所 市場第二部	単元株式数は、 1,000株である。
計	24,500,000	24,500,000	—	—

#### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はない。

#### (3) 【ライツプランの内容】

該当事項はない。

#### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成21年12月31日	—	24,500,000	—	2,343,000	—	1,551,049

#### (5) 【大株主の状況】

大量保有報告書の写しの送付がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握していない。

## (6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができないので、直前の基準日である平成21年9月30日の株主名簿により記載している。

### ① 【発行済株式】

平成21年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 25,000	—	株主としての権利内容に制限のない、標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 24,428,000	24,428	同上
単元未満株式	普通株式 47,000	—	一単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	24,500,000	—	—
総株主の議決権	—	24,428	—

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式247株が含まれている。

### ② 【自己株式等】

平成21年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 広栄化学工業株	大阪市城東区放出西 二丁目12番13号	25,000	—	25,000	0.10
計	—	25,000	—	25,000	0.10

## 2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高(円)	268	280	280	275	275	291	268	249	220
最低(円)	232	238	252	260	243	265	243	210	200

(注) 最高・最低株価は大阪証券取引所市場第二部におけるものである。

## 3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動はない。

## 第5 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成している。

なお、前第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成している。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あずさ監査法人により四半期レビューを受けている。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	573,079	368,096
受取手形及び売掛金	※2 4,459,694	5,431,020
商品及び製品	3,083,355	3,646,753
仕掛品	1,016,100	1,203,808
原材料及び貯蔵品	861,750	660,539
その他	367,481	258,461
貸倒引当金	△17,007	△23,505
流動資産合計	10,344,455	11,545,174
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,256,332	2,850,862
機械装置及び運搬具（純額）	5,143,160	4,094,082
その他（純額）	1,840,471	1,558,364
有形固定資産合計	※1 10,239,964	※1 8,503,309
無形固定資産	59,365	79,749
投資その他の資産		
投資有価証券他	2,106,417	1,976,480
貸倒引当金	△7,623	△7,638
投資その他の資産合計	2,098,794	1,968,842
固定資産合計	12,398,123	10,551,900
資産合計	22,742,578	22,097,075
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※2 4,124,543	4,297,421
短期借入金	2,441,200	2,040,000
未払法人税等	—	75,365
引当金	5,168	139,214
その他	※2 1,442,359	972,668
流動負債合計	8,013,271	7,524,670
固定負債		
長期借入金	468,800	—
退職給付引当金	1,569,061	1,678,474
その他	331,593	347,540
固定負債合計	2,369,454	2,026,014
負債合計	10,382,725	9,550,685

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,343,000	2,343,000
資本剰余金	1,551,049	1,551,049
利益剰余金	7,809,119	8,101,261
自己株式	△8,441	△8,278
株主資本合計	11,694,727	11,987,032
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	644,943	526,461
評価・換算差額等合計	644,943	526,461
少数株主持分	20,183	32,895
純資産合計	12,359,853	12,546,389
負債純資産合計	22,742,578	22,097,075

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	17,552,887	13,769,714
売上原価	13,728,487	11,254,735
売上総利益	3,824,400	2,514,978
販売費及び一般管理費		
発送費	441,184	413,669
給料手当及び賞与	595,932	580,015
退職給付費用	36,104	51,368
役員退職慰労引当金繰入額	14,872	—
賃借料	99,772	94,598
試験研究費	674,712	686,825
その他	679,523	658,422
販売費及び一般管理費合計	2,542,102	2,484,899
営業利益	1,282,297	30,078
営業外収益		
受取利息	4,611	830
受取配当金	39,169	42,892
受取補償金	41,193	17,059
雑収入	20,426	12,749
営業外収益合計	105,401	73,531
営業外費用		
支払利息	13,050	20,622
製造休止損失	—	126,852
為替差損	166,280	45,919
固定資産除却損	55,739	24,876
雑損失	17,634	20,520
営業外費用合計	252,704	238,791
経常利益又は経常損失(△)	1,134,993	△135,181
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,134,993	△135,181
法人税等	435,554	△50,600
少数株主利益又は少数株主損失(△)	10,871	△12,712
四半期純利益又は四半期純損失(△)	688,567	△71,868



## 【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	5,307,450	4,779,638
売上原価	4,247,427	3,889,000
売上総利益	1,060,022	890,638
販売費及び一般管理費		
発送費	135,548	150,494
給料手当及び賞与	208,090	189,709
退職給付費用	15,041	17,758
賃借料	31,807	31,126
試験研究費	198,472	217,563
その他	223,544	218,222
販売費及び一般管理費合計	812,504	824,874
営業利益	247,517	65,763
営業外収益		
受取利息	3,905	218
受取配当金	19,307	19,543
為替差益	—	20,182
受取補償金	6,636	6,618
雑収入	8,941	1,460
営業外収益合計	38,790	48,023
営業外費用		
支払利息	3,476	7,329
固定資産除却損	27,112	5,698
寄付金	—	5,000
為替差損	112,955	—
雑損失	10,006	6,111
営業外費用合計	153,551	24,138
経常利益	132,757	89,648
税金等調整前四半期純利益	132,757	89,648
法人税等	49,679	32,974
少数株主利益	2,355	4,074
四半期純利益	80,722	52,599

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,134,993	△135,181
減価償却費	885,383	953,760
有形固定資産除却損	9,810	17,166
投資有価証券評価損益(△は益)	1,964	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△72,761	△6,513
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△98,557	△109,413
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△102,768	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△137,000	△134,046
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,000	—
受取利息及び受取配当金	△43,780	△43,723
支払利息	13,050	20,622
売上債権の増減額(△は増加)	1,268,461	971,325
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,053,076	549,895
仕入債務の増減額(△は減少)	△328,354	△172,878
未払消費税等の増減額(△は減少)	△74,101	8,844
その他	15,645	225,090
小計	1,403,909	2,144,950
利息及び配当金の受取額	43,933	43,759
利息の支払額	△16,210	△20,443
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△750,221	△47,609
営業活動によるキャッシュ・フロー	681,411	2,120,657
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,112,212	△2,538,288
有形固定資産の売却による収入	—	2,137
無形固定資産の取得による支出	△4,516	△7,714
貸付けによる支出	△7,000	—
貸付金の回収による収入	52,548	3,790
その他	7,273	△27,309
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,063,907	△2,567,384
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	500,000	400,000
長期借入れによる収入	—	600,000
長期借入金の返済による支出	△268,000	△130,000
自己株式の取得による支出	△788	△163
配当金の支払額	△220,292	△220,272
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,918	649,563
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23,117	2,147
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△394,695	204,983
現金及び現金同等物の期首残高	841,256	368,096
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 446,561	※1 573,079

**【継続企業の前提に関する事項】**

当第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

該当事項はない。

**【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】**

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

該当事項はない。

**【表示方法の変更】**

当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	
(四半期連結貸借対照表)	
1 投資有価証券他	
	前第3四半期連結会計期間において、固定資産のうち投資その他の資産の「その他」と表示していた科目名については、資産の状況をより明瞭に表示するため、当第3四半期連結会計期間では「投資有価証券他」と表示することとした。

**【簡便な会計処理】**

当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	
1 棚卸資産の評価方法	
	当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっている。 また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっている。

**【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】**

当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	
1 原価差異の繰延処理	
	操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異等については、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産の「その他」として繰延べている。
2 税金費用の計算	
	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用している。 なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示している。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
※1 有形固定資産の減価償却累計額 24,340,103千円	※1 有形固定資産の減価償却累計額 23,518,059千円
※2 四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理 当第3四半期連結会計期間末は銀行休業日であったが、同日満期となる期日現金、満期手形については決済がおこなわれたものとして処理している。当第3四半期連結会計期間末日に満期となる期日現金、満期手形は次のとおりである。	—
受取手形及び売掛金 132,301千円	
支払手形及び買掛金 295,986千円	
流動負債(その他) 47,956千円	

(四半期連結損益計算書関係)

第3四半期連結累計期間

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
—	—

第3四半期連結会計期間

前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
—	—

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年12月31日現在)	※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年12月31日現在)
現金及び預金 446,561千円	現金及び預金 573,079千円
現金及び現金同等物 446,561千円	現金及び現金同等物 573,079千円

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成21年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日  
至 平成21年12月31日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第3四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	24,500,000

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第3四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	25,912

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成21年5月11日 取締役会	普通株式	利益剰余金	220,272	9.0	平成21年3月31日	平成21年6月8日

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はない。

4 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がない。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

	ファイン製品部門 (千円)	化成品部門 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,914,025	2,393,425	5,307,450	—	5,307,450
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,914,025	2,393,425	5,307,450	—	5,307,450
営業利益	549	246,968	247,517	—	247,517

(注) 1 事業区分は、製品の種類、製造方法、販売市場の類似性等によっている。

2 各事業区分に属する製品の名称

(ファイン製品部門) 医農薬関連化学品、機能性化学品、その他

(化成品部門) 多価アルコール類、その他

当第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

	ファイン製品部門 (千円)	化成品部門 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,086,943	1,692,694	4,779,638	—	4,779,638
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,086,943	1,692,694	4,779,638	—	4,779,638
営業利益又は営業損失(△)	91,188	△25,424	65,763	—	65,763

(注) 1 事業区分は、製品の種類、製造方法、販売市場の類似性等によっている。

2 各事業区分に属する製品の名称

(ファイン製品部門) 医農薬関連化学品、機能性化学品、その他

(化成品部門) 多価アルコール類、その他

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	ファイン製品 部門 (千円)	化成品部門 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	10,441,907	7,110,980	17,552,887	—	17,552,887
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,441,907	7,110,980	17,552,887	—	17,552,887
営業利益	780,662	501,635	1,282,297	—	1,282,297

(注) 1 事業区分は、製品の種類、製造方法、販売市場の類似性等によっている。

2 各事業区分に属する製品の名称

(ファイン製品部門) 医農薬関連化学品、機能性化学品、その他

(化成品部門) 多価アルコール類、その他

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	ファイン製品 部門 (千円)	化成品部門 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	9,445,597	4,324,116	13,769,714	—	13,769,714
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,445,597	4,324,116	13,769,714	—	13,769,714
営業利益又は営業損失(△)	123,539	△93,461	30,078	—	30,078

(注) 1 事業区分は、製品の種類、製造方法、販売市場の類似性等によっている。

2 各事業区分に属する製品の名称

(ファイン製品部門) 医農薬関連化学品、機能性化学品、その他

(化成品部門) 多価アルコール類、その他

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

当社は本邦以外の国又は地域に所在する支店及び連結子会社がないため該当事項はない。

当第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

当社は本邦以外の国又は地域に所在する支店及び連結子会社がないため該当事項はない。

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

当社は本邦以外の国又は地域に所在する支店及び連結子会社がないため該当事項はない。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

当社は本邦以外の国又は地域に所在する支店及び連結子会社がないため該当事項はない。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

	アジア	ヨーロッパ	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	851,832	570,291	505,839	11,773	1,939,737
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	5,307,450
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	16.0	10.7	9.5	0.2	36.5

- (注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっている。  
 2 各区分に属する主な国又は地域  
 (1) アジア……中国、インド  
 (2) ヨーロッパ……フランス、ドイツ  
 (3) 北米……アメリカ、カナダ  
 (4) その他の地域……オーストラリア、ニュージーランド  
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高である。

当第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

	アジア	ヨーロッパ	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	868,696	777,268	376,119	7,722	2,029,807
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	4,779,638
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	18.2	16.3	7.9	0.2	42.5

- (注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっている。  
 2 各区分に属する主な国又は地域  
 (1) アジア……インド、中国  
 (2) ヨーロッパ……ドイツ、スウェーデン  
 (3) 北米……アメリカ  
 (4) その他の地域……ニュージーランド、オーストラリア  
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高である。



前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	アジア	ヨーロッパ	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	2,696,643	1,794,581	1,684,806	47,340	6,223,372
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	17,552,887
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	15.4	10.2	9.6	0.3	35.5

- (注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっている。  
 2 各区分に属する主な国又は地域  
 (1) アジア……中国、インド  
 (2) ヨーロッパ……ドイツ、フランス  
 (3) 北米……アメリカ、カナダ  
 (4) その他の地域……オーストラリア、ブラジル  
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高である。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	アジア	ヨーロッパ	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	2,870,156	1,400,810	1,199,497	25,235	5,495,699
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	13,769,714
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	20.8	10.2	8.7	0.2	39.9

- (注) 1 国又は地域の区分は地理的近接度によっている。  
 2 各区分に属する主な国又は地域  
 (1) アジア……中国、インド  
 (2) ヨーロッパ……ドイツ、スウェーデン  
 (3) 北米……アメリカ、カナダ  
 (4) その他の地域……オーストラリア、ニュージーランド  
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高である。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はない。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はない。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はない。

(企業結合等関係)

該当事項はない。

## (1株当たり情報)

## 1 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
504円19銭	511円28銭

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎

項目	当第3四半期 連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	12,359,853	12,546,389
普通株式に係る純資産額(千円)	12,339,670	12,513,493
差額の内訳(千円)		
少数株主持分	20,183	32,895
普通株式の発行済株式数(株)	24,500,000	24,500,000
普通株式の自己株式数(株)	25,912	25,247
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式 の数(株)	24,474,088	24,474,753

## 2 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額

## 第3四半期連結累計期間

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 28円13銭	1株当たり四半期純損失金額(△) △2円94銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 —	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 —

(注) 1 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していない。

2 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。

3 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益又は 四半期純損失(△) (千円)	688,567	△71,868
普通株式に係る四半期純利益又は 四半期純損失(△) (千円)	688,567	△71,868
普通株式に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(株)	24,475,490	24,474,605

### 第3四半期連結会計期間

前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	
1株当たり四半期純利益金額	3円30銭	1株当たり四半期純利益金額	2円15銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	—	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	—

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。  
2 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

項目	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	80,722	52,599
普通株式に係る四半期純利益(千円)	80,722	52,599
普通株式に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(株)	24,474,753	24,474,310

(重要な後発事象)

該当事項はない。

(リース取引関係)

該当事項はない。

## 2 【その他】

該当事項はない。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項なし。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年 2月12日

広栄化学工業株式会社  
取締役会 御中

あずさ監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 北 山 久 恵 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 文 倉 辰 永 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 小 野 友 之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている広栄化学工業株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日から平成20年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、広栄化学工業株式会社及び連結子会社の平成20年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管している。  
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていない。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年 2月12日

広栄化学工業株式会社  
取締役会 御中

あずさ監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 文 倉 辰 永 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 北 山 久 恵 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 小 野 友 之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている広栄化学工業株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成21年10月1日から平成21年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、広栄化学工業株式会社及び連結子会社の平成21年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管している。  
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていない。

**【表紙】**

**【提出書類】** 確認書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の8第1項

**【提出先】** 近畿財務局長

**【提出日】** 平成22年2月12日

**【会社名】** 広栄化学工業株式会社

**【英訳名】** KOEI CHEMICAL COMPANY, LIMITED

**【代表者の役職氏名】** 取締役社長 大庭成弘

**【最高財務責任者の役職氏名】** —

**【本店の所在の場所】** 大阪市城東区放出西二丁目12番13号

**【縦覧に供する場所】** 東京本社  
(東京都中央区日本橋本町三丁目7番2号シオノギ本町共同ビル)  
株式会社大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社取締役社長大庭成弘は、当社の第149期第3四半期(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認した。

## 2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はない。



